



こんにちは!!

やまがたむら

令和3年7月

137号

議会です

発行：長野県山形村議会（代表）三澤一男

編集：議会広報編集特別委員会



やまがた未来塾



コロナワクチン接種



●第2回 議会定例会 2
 コロナワクチン接種本格稼働

●一般質問の要約 3～6
●キャッチボール 8

コロナワクチン接種本格稼働

1回目1308人・2回目598人終了

(6月13日現在)



令和3年 第2回議会定例会

第2回定例会を6月7日に開会し、16日まで10日間開催した。
請願1件・陳情1件・報告2件・議案5件をそれぞれ審議のうえ、承認・可決した。
一般質問は、コロナ禍の中で、時間を短縮し、6月8日に8人が登壇し、村政全般
について質問を行なった。

請願

☆「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を
求める意見書」採択を求める請願書

陳情

☆「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を
求める意見書」の採択を求める陳情書

報告

☆令和2年度山形村一般会計繰越明許費繰越
計算書の報告について
☆令和2年度山形村下水道事業会計繰越計算
書の報告について

議案

☆令和3年度山形村一般会計補正予算(第2
号)
☆令和3年度山形村国民健康保険特別会計補
正予算(第1号)
☆令和3年度山形村介護保険特別会計補正予
算(第1号)
☆令和3年度山形村水道事業会計補正予算
(第1号)
☆令和3年度山形村下水道事業会計補正予算
(第1号)

議会発議

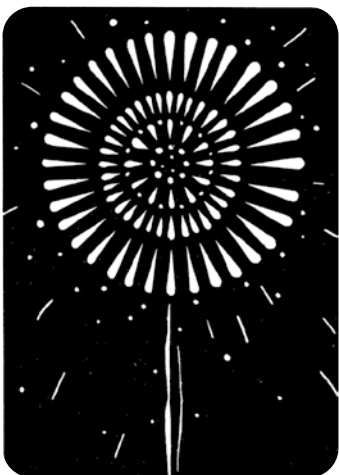
☆山形村議会議規則の一部を改正する規制
について

旬の味

今年の山形じゃんずらも、2年続けて
の中止となってしまいました。昨年の中
止の時には来年はできるよね?と思っ
ていました。自分自身昭和35年生まれ
で、ウシ年生まれと同級生と還暦祝
いの花火をあげる年でした。昨年
の昭和34〜35年生まれ、今年
の昭和35〜36年生まれの花火はあ
がりません。

5月からコロナワクチンの接種も始
まりました。今年中には12歳以上が
接種される予定です。来年こそは色
々な行事ができるように願います。

小林 幸司



一般質問

議員8人が

村政を問う

一般質問は6月8日に行なわれ議員8人が村政課題をただした。感染防止の観点から今回も質疑時間を4分に短縮したが、4

月開催の臨時議会で示された本庄村長の施政方針に関わる議論が集中し、制限時間をフル活用するケースが際立った。

持続可能な環境保全をどのように進めるか

村長 社会の動きを注視して目指す姿の実現に努めたい



新居 禎三 議員

Q 家庭系可燃ゴミなどは、減少というより微増傾向にあるが、減少に向けてどのように取り組むか。

A ゴミの総排出量は、15年ほど前に比べると格段に減ってはいるが、近年はおおよそ同じくらいの量が続けている。可燃ゴミは水分を少なくする・リサイクルできるものはできるだけ資源として出していただくなど、繰り返し正しい分別と資源化の促進を呼びかけていくことが大切だと考える。

Q 近年利活用がなされていない里山をどのように再生するのか。

A 身近な里山について関心が薄くなり、所有者の高齢化などで荒れている状況が

見られる。地域で守っていくという意識を醸成することが必要だと考える。住民の皆さんに関心を持っていただけるような仕組み作りが重要だと考える。

Q 温室効果ガスの排出削減の意識啓発をどのように取り組むのか。

A 温室効果ガスの削減や脱炭素社会といった問題の対策は国が主導すべきで、村の立場はそれに協力できる施策を講じるか、制度や技術を研究し目指す社会の実現に努めていきたい。

Q 環境保全のための幅広い世代への村民参加の学習機会の計画はどのように行なうか。

A 目標をスケジュール化して実行したい。あまり堅苦しいものでなく、リサイクル工場見学や家庭でできるエコ活動の事例紹介など様々な角度から環境問題を見つめる機会を提供できるものにしていきたい。

なろう原霊園に合葬墓の整備をしてみてもいいだろうか

長直ちに整備することは、現時点の山形村では選択すべきでないと判断している



春日 仁 議員

Q 合葬墓などの施設の整備の検討について、その後の進捗状況は。

A 自治体が運営する公営の合葬墓をいくつも視察し、検討の材料を集め、平均的な合葬墓のおおかたの姿を想像しながら、内部で研究してきた。

Q 本村でも合葬墓などを望む声があり、整備を進める必要があると考えるが、所見を伺いたい。

A 一般的な公営合葬墓のような、時代のニーズに即応でき得る施設を直ちに整備することは、現時点の山形村では選択すべきでないと判断している。しかしながら、行政が福祉・扶助・弱者救済といった観点から、家族や親戚縁者の自己責任による埋葬、管理がどうしてもできない方や、経済的困窮から墓地の取得が不可能な方などを対象として、一定の要件と合意のもとに共同埋葬の仕組みを検討することは必要なことだと考えている。

その他、人口減少対策について質問した。

人口減少に対する施策は

長 持続可能な人口減少対策は、村民と村行政が協働して進めることが重要



小出敏裕 議員

Q 山形村の特色を生かした人口増加策と、

A 全庁横断的な推進とは。

Q 山形村の風景、人間関係、食文化や暮

らしなど地域の特色を生かしながら、村民と協働して人口増加策を進める。また、庁内の全ての部署が情報と課題を共有し対策に取り組む。

Q 人口減少の自然的・社会的要因の対処は。

A 自然的要因では、子育て支援の一層の充実により出生数の増加を、社会的要因

小学校30人学級を 中高学年まで拡充を

長 発達段階に応じて獲得する能力育成の観点から、県基準による学級編成が望ましい



大月 氏夫 議員

Q 平成29年より当村

独自で低学年（1～2年生）を対象に30人学級の編成を願っているが、感染症対応など急激な環

境変化が生じている。中高学年（3～6年生）まで対象を拡充し、安全できめ細かな教育体制を求めたい。

Q 移住定住の相談件数は。

A 移住相談12件、空き家相談10件である。

Q お試し住宅修繕の進捗状況と空き家バンクの登録状況は。

A 水道の漏水、シロアリ駆除、畳の張り替えを計画し、現在は畳の張り替えを行っている。空き家バンクは登録物件1軒、調整中物件1軒である。

Q 清水高原をリモートワークの拠点や移住・定住の場所としてはどうか。

A リモートワークとしての活用は、清水高原の再活用につながるが、課題を洗い出し検討する必要がある。

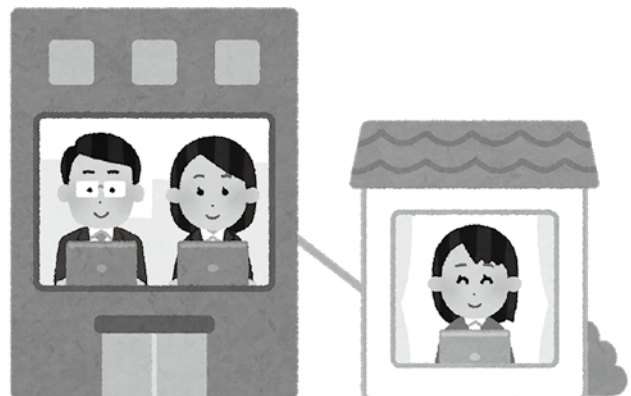
境変化が生じている。中高学年（3～6年生）まで対象を拡充し、安全できめ細かな教育体制を求めたい。

Q 児童が発達段階に応じて獲得していく能力の育成にとって、県基準による学級編成が適当と判断する。コミュニケーション能力、調整能力、人間関係形成能力など、将来社会の中で生きていくうえで必要となる力を学校生活の中で育んでいく。多様な考え方を、感じ方、価値観に触れられるには、ある程度の大きさの学級集団が望ましいと考え、3年

Q 生以上は35人学級編成としている。

A コロナ禍における教室内のソーシャルディスタンスの確保や、一人1台端末のGIGAスクール授業の環境整備への対応は、環境変化に伴う課題については、今後何らかの対応が必要な事項と捉えている。国、県や周辺市町村の動向などを注視している。

Q その他、水道メーターの自動検針システム導入の検討着手を求めた。



産前産後支援のさらなる充実を

長子育てしやすい支援体制づくりの
村ために検討したい



大池俊子 議員

きないか。

A 村では、4・7・10カ月の乳児健診を行なっている。乳児一般健康診査票による小児科の受診も可能である。子育てしやすい支援体制を整えていくために、経済的な負担の軽減として、意見を多くいただければ検討したい。

Q 「妊婦健康診査票」は1人14回分交付されるが、それを超えた場合実費となり、負担が大変。予定日を過ぎると大体終わってしまう。

A 妊婦一般診査の補助は、基本健診票14枚、追加検査5枚（4種類）、超音波検査受診票4枚となっている。40週までの健診はカバーできる。2019年に長野県保険医療協会により行なわれた市町村へのアンケートでは、妊産婦医療費助成制度を設けている自治体が6市町村あり、福祉医療費給付事業として行なっている。また、15回目以降基本健診費用などに対し独自の費用助成がある市町村も4町村ある。住民の方の意見も伺いながら、支援策を検討したい。

その他、やまがた未来塾について質問した。

風食対策での防砂林や 並木道の整備は

村長 樹木の植栽には諸問題がある



小林幸司 議員

Q 麦種子配布の効果の比較は行なっているか。

A 松本・塩尻・朝日・山形で構成されている「南西部地域農地風食防止対策協議会」で麦種子購入に補助を行なっているがJAに一任しているので、効果検証には至っていない。令和3年度の緑肥麦補助制度には山形村290万円、塩尻市162万円、朝日村120万円の予算が計上されている。なお松本市は予算無しである。

Q 右岸土地改良区としての協力はできないのか。

A 水利用については国営事業によるもので、使用目的や時期が定められており現在のところ風食防止のために時期の前倒しや使用はできないのが現状だ。

Q 植栽による試験はできないのか。

A 現在のところ考えていないが、他県の事例を参考に担当課を中心に研究を行ないたいと考えている。例えば大きな木でなくとも、りんごなどの果樹や村木であるいちいなどの緑化木なども可能かと思われる。しか

し抜本的な対策には、従来の県や自治体・農業関連団体だけではなく畑の所有者や耕作者が本気になって取り組むことも必要だと考える。



ふるさと納税の実績と今後の展望は

長 山形村のことを知り、関わるきっかけとして、また財源として活用する面からも返礼品の充実を図りたい



百瀬 章 議員

Q 今までの返礼品の傾向と今後新たに追加する予定は。

A 長いも、スイカ、米を中心とした農産物が人気。今後は各種収穫体験など、山形村に来てもらえる体験型の導入も研究し、幅広く

い返礼品で、寄付者の要望に添いたい。

Q 山形村民が他の自治体に寄付すると村税などが控除になるが、これまでにどのくらい控除になっているか。

A 平成27年度以前の集計データがないため平成28年度から令和2年度の集計で、控除合計は2千13万円余りとなる。

Q 受け入れた寄付額から約4割程度の返礼品や事務費などを差し引くと、村税控除額を下まわり、実質マイナスであるが庁内でこのことについて共有しているか。

A 共有はしていない。

新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況は

Q 高齢者のワクチン接種は7月中に終わるか。

A 当初見込みの人数よりも多いが、7月末の終了を目指し、予約枠を拡大して対応している。

一部を改正する法律の改正後の災害対策基本法の運用は

長 5月の配布文書でチラシを全戸に配布。村ホームページでも掲載し周知をする



竹野 恒夫 議員

Q 災害対策基本法の一部改正

(1) 避難勧告・避難指示の一本化等

「課題」本来避難すべき避難勧告のタイミングで避難せず、逃げ遅れにより被災する者が多数発生。避難勧告と指示の違いも十分に理解されていない。

「対応」避難勧告・指示を一本化し、従来の勧告の段階から避難指示を行なうこととし、避難情報のあり方を包括的に見直しする。令

和3年5月20日施行・山形村での対応は。

A 今後は、避難勧告を出していたタイミングで避難指示を出すので、警戒レベル4避難指示で危険な場所から避難。改正内容は、5月の配布文書でチラシを全戸配布・ホームページにも掲載し住民に周知をしている。また、配布したチラシの裏面には、避難行動判定フローを掲載している。昨年全戸配布したハザードマップも併せて活用し、自らの命は自らが守る自助を基本に、災害時に取るべき行動を今一度家族等で確認していただきたい。

その他、個別避難計画の作成・道の異常通報手段の改革を質問した。



山形村議会議員選挙は 明年（2022年）3月実施されます

多様な民意を吸収し議会活性化!!

4年に一度の「山形村議会議員選挙」が令和4年3月告示されます。

地方分権時代にあつて、住民自治の充実の必要性が期待されている中で、多様な民意を吸収し、それを集約し自治体の意思決定を行なう議会の役割は益々重要となっております。

全国町村議会議長会が全ての議員に向けて発信している「議員の心構え」の一端をご紹介します。新鮮な英知を携えた皆さんの議会参画への決断に結び付くことを願っております。

特集…議員の心構え

①住民全体の代表者である

議員は住民全体の利益のため、法令に基づいて公平にその権限を行使すべき立場にある。全体の奉仕者であつて、一部の奉仕者ではないことを肝に銘じる必要がある。



②執行機関と一步離れ、二歩離れるな

議会は執行機関を公正に眺め、厳正に批判し、行財政執行上の重要事項について適正で公平妥当な結論を見出して決定する議事機関である。

執行機関と近付き過ぎ、適正な政策判断ができなければ議会の存在価値がなくなる、離れすぎても適切な検証はできない。

③批判するには、代案をもってせよ

厳しさの中に温かみのある言葉で批判し、説得力のある実現可能な具体的代案をもって臨む心構えが必要である。不正を追及するためには、何が善であり、何が正しいかを明確に示すと共に、自らも他人の厳しい批判に耐える覚悟を持たなければならない。

④実質的な審議が大切

住民の立場に立って実質的な審議を尽くすことが、議会の使命であることを忘れてはならない。審議に対する評価は、どのような高度な質疑や討論が濃密に行われたかによってなされる。

⑤住民の声や心を代表する

組織を持った住民の声は容易に把握できるが、地域社会の片隅にいる弱者の声、組織を持たない住民の小さな声やため息は聞き取りにくい。住民と行政との橋渡しをすべき議員は、そうした大きな声、小さな声、声なき声、ため息全ての声を把握してこれを代表し、住民の心情をつかんでその心で物事を考えることが大事である。

⑥勇気と奮起が政治家の要素

常に地域の現状と問題点を考え、将来のあり方を踏まえて、住民を指導すべき立場にある。議員自らが勇気をもって奮起して発言し、行政当局と住民に訴えてこれを奮起させてこそ、行政の進展も地域の振興発展も実現する。

私の一言

後世のためにコロナ禍の記録を

(上竹田) 竹野園 磨



7月も残り僅かとなり五輪・パラリンピックの開催を間近にして日本のコロナ感染状況は政府のワクチン接種の本格化で沈静化し、収束に向かう希望がやや見えてきたか。

コロナとの戦いは全国民を疲弊させた。感染者はもとより医療関係者や政府の政策に直撃された飲食業者など筆舌に尽くし難い労苦が連日報道されている。一般庶民も村や地区の行事が中止となり、人的交流も殆ど閉ざされた日常で「コロナうつ」に陥る人が多いと聞く。この1年半が空白のように思える。

丁度、百年前のスペイン風邪以来一世紀ぶりに世界を席卷したコロナの軌跡は世紀の事件として様々なところで記録されるであろう。当村としても後世のために、また事実として村民や行政の苦難の状況を正確な記録として留めておいてほしいと思う。

女性を議会へ

(下大池) 小林 かつ代



何年か政策決定の場に携わる機会をいただいていたことは、「いかに女性が少ないか」ということでした。農業、育児、非正規労働の場、生活のこまごました場面のほとんどを女性が担っています。それなのに、意見を反映させる機会があまりにも少ないのです。

村の議会には女性は一人生きづらいです。男性目線だけで政治が進むことは、生きづらさにつながります。これからの時代を支えていく年代の方々にぜひ、政策決定の場に出てきていただきたいのです。そして周りのみんながそれを後押しする村であって欲しいと思います。様々な立場の人が、その経験を生かして声をあげていくことはより良い政治につながると思います。



編集後記

新型コロナウイルス感染症が日本に上陸し早1年半が経ち、山形村でもワクチン接種が漸く本格稼働を始めてまいりました。国内では、オリンピック・パラリンピックが一部の会場を除き無観客で行なわれるようであります。

ただ感染症の専門家の提言では、無観客開催が望ましいとの提言のようです。国民が望むワクチン接種がまだまだ先が見えない中…。私達議員も、残す任期が10カ月を切りました。

残された任期を、本庄村長の2期目の方針にある人口増加対策・行財政改革の方向性を見守りながら、議員として徹しくチェックしてまいりたいと考えております。

コロナの一日も早い終息を願うばかりです。(福澤倫治)



発行責任者

議長 三澤 一男

議会広報編集特別委員会

委員長 上條 倫司

副委員長 小林 幸司

委員 春日 仁

委員 新居 禎三

委員 大月 民夫

委員 福澤 倫治